

◆ 平成30年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 経済建設部 ）

部長名

氏橋 通泰

達成度区分

◎：達成(100%以上) ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満) △：未達成 ×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
1	空き家対策の推進	①認定された特定空家の解消に向け取り組みを行う。	○	現在、市内で2件を特定空き家として認定しているが、1件は、「勧告」を行ったところ、複数の相続関係人により除却に向けた積極的な動きがみられた。 もう1件は、「相談・指導」により応急的に危険部位が取り除かれた。
		②「空家等対策計画」に基づき、地域の防災機能の向上及び住環境の保全を図るため、空家等の除却を促進する。	○	・「老朽危険空家除却支援制度」については、12件の補助を実施した。 ・空き家除却後の敷地の固定資産税を減免する制度を10月より施行した。(H30年度中の適用は5件)
	【総括達成度】 ○	③管理者責任の意識を高めてもらうための取り組みを実施する。	○	NPO法人と連携し11月に「空き家セミナー・相談会」を実施し約40人の市民が参加した。
2	下水道の整備と合併処理浄化槽の普及促進	①下水道の水洗化率を38.1%から39.2%へ引き上げるとともに、合併処理浄化槽の普及促進に努める。	○	・下水道の水洗化率向上を図るため、戸別訪問や普及促進員によるサポートを実施するなどの周知啓発活動に努めたが、供用開始区域内人口の増加と比較して、接続数が想定よりも少なく、H30年度末の水洗化率の見込みは38.6%と微増となった。 ・合併処理浄化槽の普及促進を図るため、様々な普及啓発活動を実施した結果、H30年度の転換見込み数は26基と昨年度を大きく上回った。
		【総括達成度】 ○	②中心市街地における安全・安心で災害に強い街づくりの取り組みとして、老朽管渠の長寿命化対策延長を70%から78%に引き上げる。また、撫養ポンプ場(ポンプ棟)の耐震・津波対策を実施する。	○

◆ 平成30年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 経済建設部 ）

部長名

氏橋 通泰

達成度区分

◎：達成(100%以上) ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満) △：未達成 ×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
3	移住交流対策について	①空き家バンクへの登録を促進する。	○	広報紙や空き家バンクWebサイトで周知を行うとともに、新たに固定資産税の納付書に空き家バンクの案内を同封したほか、まちづくり課等と共催にて空き家問題解決セミナーを開催した結果、空き家バンクへの登録件数は昨年度よりも着実に増加している。
	【総括達成度】 ○	②移住希望者へ鳴門市の良さを伝えるとともに移住された方に定住してもらえるよう、きめ細やかな相談対応やサポートを行う。	○	・新たに移住希望者向けパンフレットを作成して本市への移住の魅力を発信した。 ・各種移住支援制度の周知や移住相談会にて相談窓口を設置するなどし、本市に移住を検討されている方への支援の充実に努めるとともに、移住後の近況伺い等フォローアップにも努めた。

◆ 平成30年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 経済建設部 ）

部長名

氏橋 通泰

達成度区分

◎：達成(100%以上) ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満) △：未達成 ×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
4	鳴門観光ブランド化とインバウンド促進事業による観光振興の推進	①「鳴門の渦潮」などの観光資源のブランド化を推進するとともに、県内外への情報発信を行う。	○	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会での活動を中心に、官民一体となり学術調査や普及啓発活動など観光ブランド化に向けた取り組みを推進した。 世界遺産登録に向け、国内外類似資産との比較研究などを行うとともに、平成31年度末までに提案文書を作成する予定。 「鳴門の渦潮」をテーマに、絵画・俳句・書道作品を対象とした文化コンクールを実施するとともに、ポスターやパンフレットを活用し、県内外においてPR活動を実施した。 南あわじ市内の宿泊施設において、ユネスコ世界遺産海洋プログラム調整官のドーバー博士による講演会などを実施する国際シンポジウムを開催した。 「鳴門うどん研究会」との連携のもと、はな・はるフェスタや島田島ハーフマラソン、クリスマスマーケットなど市内外での出店を通じ、「鳴ちゆるうどん」をPR・販売し、本市のご当地グルメのブランド化に向けた取り組みを推進した。
		②「第九」アジア初演100周年を契機としたイベントの開催や、観光キャンペーン、ロケ誘致などにより、観光都市鳴門の知名度向上を図る。	○	<ul style="list-style-type: none"> 「第九」アジア初演100周年を記念し、本市の一大イベントである納涼花火大会・阿波おどり開催事業の充実をはじめ、観光キャンペーンなどにおいて記念事業の情報発信を行った。 花火の打上発数を100周年に因んで、例年の2倍となる10,000発に増発した。 阿波おどりの東演舞場を20m延長するとともに、西演舞場を「第九」特設おどり広場として位置づけ、舞台形式で阿波おどりを披露した。 鳴門市阿波おどりPR大使の石田靖さんをはじめ、多数のゲストを招聘し阿波おどり会場を盛り上げた。 「吉本」とのコラボ事業として、歌や踊りなど持ち芸を競う「なると素人名人会」を文化会館で開催し、日中の賑わいを創出した。 「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業を展開するとともに、淡路SAや徳島ヴォルティスアウェイゲームでのキャンペーン、吉本興業本社で記者会見を行うなどプロモーション強化に努めた。
	【総括達成度】	◎	<ul style="list-style-type: none"> 香港・台湾・中国を主なターゲットとして、各種協議会等と連携しながら、情報発信や受入環境整備を実施した。 世界で360万人以上の登録者を持つ会員制交流サイトを運営する(株)デモックスと四国で初めて連携協定を締結し、本市の魅力をSNSにより情報発信した ニッポンタブレット(株)と連携協定を締結し、多言語での観光案内業務を行った。 香港の30代女性個人旅行者をターゲットに、現地からメディア関係者や旅行会社を招請しファミトリップを実施するなど、情報発信や旅行商品の造成・販売を行い、エリア内への誘客促進を図った。 多言語観光情報サイトを制作した。 「インバウンド誘客推進」をテーマに、市内の民間事業者を中心にワーキンググループを立ち上げ、観光コンテンツのブラッシュアップやキャッシュレス環境整備等について検討した。 徳島阿波おどり空港における香港-徳島季節定期便の就航を踏まえ、香港において、インバウンド商談会や旅行会社向けに徳島・鳴門のセールスコールを実施するなどPR強化に努めた。 	

◆ 平成30年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 経済建設部 ）

部長名

氏橋 通泰

達成度区分

◎：達成(100%以上) ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満) △：未達成 ×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
5	公設市場の民営化	①公設市場から民設市場へ移行し、民営化にあたっては、青果部に加え水産部を再開する。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・青果部及び水産部の事業計画及び収支計画の内容について、県、管理人等と協議し、基本合意書を締結のうえ、当初は9月議会での条例等の廃止案の上程予定を、8月7日開催の臨時会に前倒し上程、11月予定であった民営化を9月1日から実現した。 ・建物を管理人へ無償譲渡した。土地については民営化後の市民、事業者等への波及効果等を見極めるため、5年間の無償貸付となった。
	【総括達成度】 ◎			